

ふれあいプール・ホット運営終了に伴う 町民説明会(第2回)を実施しました

町民の皆様へ

日ごろ町政運営には格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

3月に実施した説明会で皆様からいただいたご意見や説明が不十分だった点について、改めて団体向け、一般利用者向けと日時を分けて説明会を実施いたしました。

その内容を要約してお知らせいたします。ご覧いただき、町の方針にご理解いただきますようお願いいたします。

皆野町長 柴崎 勉

日 時	団体向け	5月29日 午後6時30分 (参加者3団体29名)
	一般利用者向け	6月19日 午後6時30分 (参加者約40名)
場 所	皆野町文化会館会議室A	
説明者	町長、副町長、教育長、教育次長	
内 容	町からの方針決定までの理由等の説明・質疑応答	

■町からの説明の概要

(1) 方針決定までの理由など

- ・老朽化が目立ってきたプールの運営について
 - ①大規模改修を実施して今後も約4,000万円/年の運営費を負担し続けるか
 - ②プールの運営を終了してその財源を他の取組に振り替えるか
- ⇒ 町の将来に責任ある町長として②を選択
- ・今後も町民が水泳や水中運動を続けられるよう、町外のプールの利用補助を検討中

(2) 1回目の説明会でのご指摘を受けての説明

- ・「民間企業への運営委託の打診は1社だけか」について
 - ⇒ ご指摘後さらに2社に打診し、
 - 1社は引き受け不可
 - 1社は約4,500万円の見積
 - ⇒ 民間委託をしても大幅な支出削減は見込めない

(裏面もご覧ください)

■質疑応答の要旨

(団体向け説明会より)

Q 温水プール終了後の学校の水泳授業は。

A 国神小学校のプールは古いですが、当面各校のプールに手を加え授業を行う。

Q 泳げなければ命を落とす。経費と命、どう考えているのか。

A 子供たちの泳力も、高齢者が介護をきちんと受けられるようにすること等他の課題への対応も、町が責任をもって取り組むことと考えている。

(一般利用者向け説明会より)

Q 人件費を削減するアイデアはないのか。

A 人命に直結する事故が起こりうる施設であり、しっかりした職員体制が必要。現状は必要最小限の配置であると考えている。

Q 建物や設備の点検は、今までどのようにやっていたのか。

A 機械設備や重要なものについては、専門の業者と保守点検契約を結んで実施。それ以外のものについては、日々の職員の目視による点検。

Q 最長 2 年で終了としているが、せめて 10 年応急処置的で良いから継続できないか。

A 少子高齢化、急激な人口減少などさまざまな課題が出てきている現状において、より多数の町民が幸福になれる政策を進めるため、温水プールの運営を残念ながら断念してそれらの課題に取り組んで行きたい。

Q 2 年という期限について。

A 経常的な修繕の範囲で施設が維持できると見込まれる期間であると考えたもの。

Q 秩父が 1 つになって水泳大会ができるプールを作る検討ができないか。

A ぜひ、検討して行きたい。町長として積極的に働きかけていきたい。

Q 小学校のプールを廃止して、温水プールの運営費に充ててはどうか。

A 本年度予算で小学校の年間の維持経費は、約 240 万円。各校のプールの維持は、温水プールを維持するよりもはるかに安価。

(裏面もご覧ください)